

# 浜長保険センター安全だより

令和 6 年 1 月 25 日

浜長保険センター 第 86 号

電話 079-246-2561

FAX 079-246-2571



辰年は、十二支の中で唯一、空想上の生き物で最も縁起が良いとされており、運気が上昇して夢が叶いやすい年と言われています。

大寒(1月20日)を迎え寒さが厳しさを増しております。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。



高速道路等を走行中にタイヤがパンクするなどトラブルが起きた場合、又山間部を走行中、野生動物と衝突した場合、皆さんはどう対応しますか？

もし、そのような事態に出会った場合、どうするのかを事前に理解しておけば、慌てたり、困ることはないと思います。高速道路等でのトラブル発生時の措置と野生動物との対処について、その概要を説明したいと思います。



## 【高速道路上でパンク・故障などが起きた場合の措置】

### 1 まず、ハザードランプを点灯させる

停車する場合は、後続車に停止する意志を伝えるため、ハザードランプを点灯

### 2 徐々に減速して路肩に寄せて停車させる

急停車せず、徐々に減速して路肩に寄せる。橋やトンネルなどを避け可能な限り広い場所まで走行し停車させる。近くにドライブイン・駐車場があれば、そこまで運転する。

### 3 停車後、ハンドルを左に切っておく

左に切っておく理由は、追突された場合、自動車が走行車線に押し出されることを防ぐため。

### 4 発炎筒や停止表示板を設置する

停車を知らせるため、自車から後方 50m 以上離れた地点に発炎筒、停止表示板を設置する。

停止表示板は、設置義務がありますが、発煙筒の設置義務はありませんが、視認性が高い。

発炎筒の燃焼時間は、約5分と短いですが、視認距離は、昼間約 600m、夜間約2kmで効果的です。停止表示板を設置しない場合は、反則金 普通6千円、点数1点

### 5 速やかに安全な場所に避難する

次に通行車両に注意し、速やかに降車し、ガードレールの外側等に避難する。

### 6 道路管理センター、警察に通報・連絡し、ロードサービスを要請する

安全な場所に避難してから、速やかに道路管理センターに連絡し救助を要請、警察に通報する。

非常電話を使う場合は、受話器を上げるとセンターに直通となる。携帯電話の場合は、#9910。

発生場所は、「キロポスト」の数字を伝える。JAFに加入している場合、パンク修理、スペアタイヤ交換、故障車両けん引も対応してくれます。

また、弊社での自動車保険のご契約の皆さまには、ロードアシスタンスサービスとして、現場での応急措置費用+レッカーけん引費用(180km 相当)を無料で提供しています。詳細は担当者まで。



## 【野生動物と遭遇・衝突した場合の措置】

### 1 野生動物と衝突したとき

事故の発生を警察に報告する。自動車保険を使う場合に事故証明が必要となります。

### 2 遭遇した場合

警戒標識に注意し、野生動物に遭遇しても、急ハンドルを切らない。急ハンドルは横転の危険と他車との接触、急ブレーキは追突され危険があるため、ブレーキで回避できない場合は、止むを得ず衝突するしかありません。紙面の都合上、この続きは2月に説明します。

